

HSBCグローバル・ターゲット利回り 債券ファンド2020-12(限定追加型)

償還運用報告書（全体版）

第4期（償還日 2025年1月30日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2020年12月30日～2025年1月30日
運用方針	主に世界各国の債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。
主要運用対象	世界各国（日本を含む）の企業等が発行する債券に投資を行います。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得した株式に限るものとし、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（毎年1月30日、休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBCグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2020-12（限定追加型）」は、2025年1月30日に満期償還を迎えました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

《お問い合わせ先（投信営業本部）》

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



HSBC Asset Management

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	期 騰 落 中 率			
(設定日)	円 銭		円	%	%	%	百万円
2020年12月30日	10,000		—	—	—	—	94,971
1 期(2022年 1 月31日)	9,910		0	△0.9	108.3	—	93,721
2 期(2023年 1 月30日)	10,061		0	1.5	114.2	—	91,385
3 期(2024年 1 月30日)	9,983		0	△0.8	137.6	—	83,867
(償還時)	(償還価額)						
4 期(2025年 1 月30日)	9,974.18		—	△0.1	—	—	61,555

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

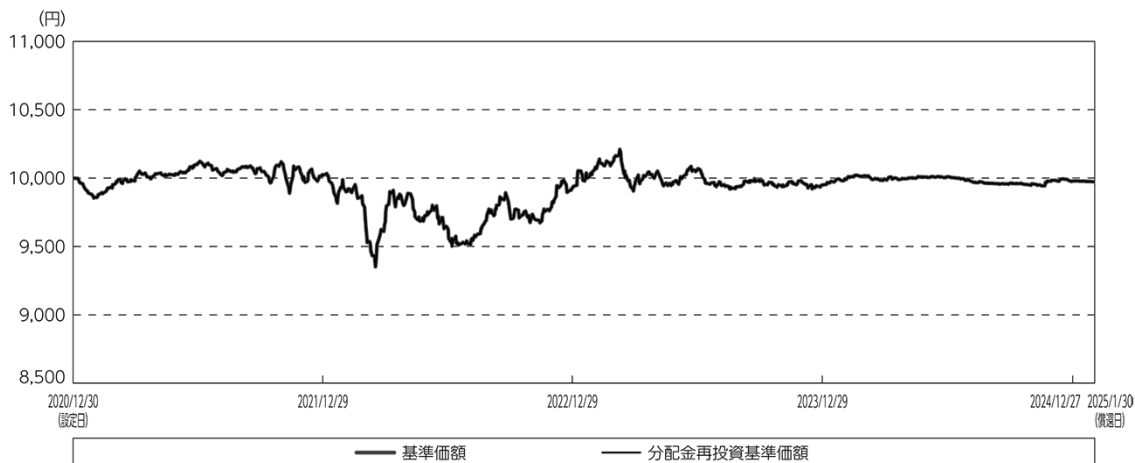
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円 銭		%	%	%
2024年 1 月30日	9,983	—	—	137.6	—
1 月末	9,995	0.1	137.6	—	—
2 月末	10,015	0.3	140.9	—	—
3 月末	9,994	0.1	140.0	—	—
4 月末	9,996	0.1	146.3	—	—
5 月末	10,006	0.2	151.7	—	—
6 月末	10,010	0.3	150.0	—	—
7 月末	9,984	0.0	145.3	—	—
8 月末	9,962	△0.2	138.2	—	—
9 月末	9,963	△0.2	130.3	—	—
10月末	9,955	△0.3	161.8	—	—
11月末	9,984	0.0	137.7	—	—
12月末	9,980	△0.0	—	—	—
(償還時)	(償還価額)				
2025年 1 月30日	9,974.18	△0.1	—	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○投資環境と運用状況

設定以来の基準価額等の推移について（設定日2020年12月30日～償還日2025年1月30日）



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。

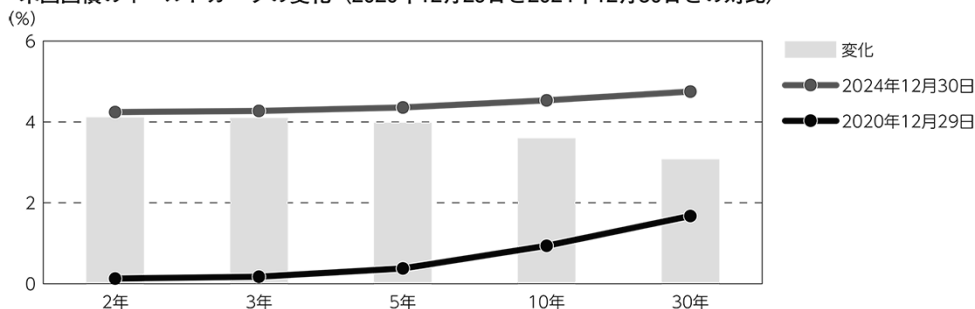
基準価額の主な変動要因

社債スプレッドを含む金利変動が投資対象の債券価格の変動および為替評価（為替ヘッジなどの評価損益）変動の要因となりました。一部の保有債券、主に中国不動産関連銘柄における価格下落およびデフォルト（債務不履行）の発生が基準価額のマイナス要因となりました。一方、それら以外の保有債券から得られた利金および価格の上昇がプラス要因となりました。

投資環境について

当ファンドの設定以来、米国におけるインフレ率の上昇、それに伴う米連邦準備制度理事会（FRB）による政策金利の引き上げ等により、米国金利は大幅に上昇しました。しかし、米国のインフレ鎮静化と景気減速懸念等を背景にFRBは2024年9月に0.50%の大幅利下げに転じたため、金利は一時低下傾向となったものの、その後の利下げが小幅であったことを受けて金利は再び上昇傾向に転じました。当ファンドは、信託期間終了前に償還が見込まれる債券に投資を行うため、最終的には金利変動の影響は受けにくいものの、運用期間中の保有債券の価格および為替（為替ヘッジなどの評価損益）の値動きは金利変動の影響を受け、基準価額は変動しました。

米国国債のイールドカーブの変化（2020年12月29日と2024年12月30日との対比）



出所：ブルームバークのデータをもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

一方、米ドル建て社債の信用スプレッドの動向については、設定来拡大、縮小を繰り返し、保有債券の価格変動に影響を与えました。低いスプレッド水準（社債市場は堅調）での運用開始から、スプレッドは拡大（社債市場は悪化）を始め、基準価額の下落要因となりました。ただし、2023年3月の欧米金融機関の信用不安による信用スプレッド拡大以降、底堅い米国景気、金融緩和期待等によるリスク選好の高まりから信用スプレッドは縮小方向に向かい、償還時には設定当初よりも低水準となりました。

米ドル建てグローバル社債のスプレッドの推移（2020年12月29日～2024年12月30日）



注：グローバル投資適格社債はBloomberg Global Aggregate - Corporate USD、グローバルハイイールド社債はBloomberg Global High Yield Corporate USD。スプレッドはオプション調整後スプレッド（満期前に繰り上げ償還の可能性がある債券等について、発行体の繰り上げ償還の権利をオプションとみなして、オプション価値を調整して求めた対国債スプレッド）。

出所：LSEGのデータをもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

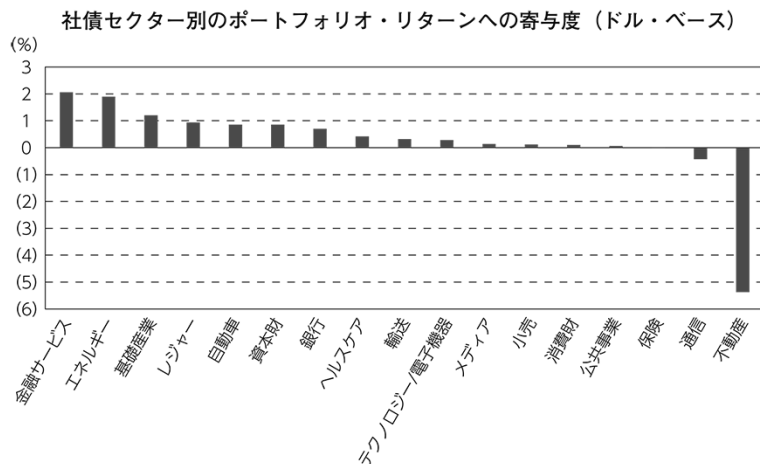
ポートフォリオについて

当ファンド設定時には、ポートフォリオの米ドル建ての最終利回りは年率3.03%、為替ヘッジコストは年率1.05%、信託報酬差し引き後実質の平均最終利回り（円ベース）は年率1.01%として運用をスタートさせました。以来、前述のような投資環境の中、第1期では基準価額はやや下落、第2期には上下しながらも上昇したものの、その後第3期で下落に転じ、第4期においてはほぼ横ばいとなりました。

当ファンドでは、投資した各債券を原則として満期日まで保有するため、保有債券がすべて予定通り償還された場合は、途中の価格変動には左右されず、設定当初の想定利回りに近い運用結果となることが期待されていきました。しかしながら、中国における不動産不況の影響を受け、当ファンドで保有していた中国不動産セクターの社債の価格が下落し、また一部銘柄がデフォルト（債務不履行）となり、利金および元本の償還を予定通り受け取ることができませんでした。保有している状態でデフォルトとなった発行体は、タイムズ・チャイナ、KWGグループ、カントリーガーデン、シーマオ・グループ、サナック・チャイナなど7発行体の計10銘柄となりました。この中国不動産セクターの社債の不振がほとんどの要因となり、設定時に想定した利回りを達成することができず、基準価額は1万円を下回る水準となりました。

その他では、ロシア事業の比率が高かったオランダの通信会社VEONの債券価格が下落し、マイナスの影響を受けました。ただし、保有比率も限られており、比較的早い段階で売却を行ったためマイナスの影響の程度を抑えることができました。この債券と中国不動産セクター以外については堅調な推移となり、ファンドのリターンの下支えとなりました。

これらのことから、最終的に1万口あたり9,974円18銭での償還となりました。



注：社債部分のみのドルベースでのリターンの内訳で、その他の要因は含まれておらず、ポートフォリオのリターンと完全には一致していません。

出所：HSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インクのデータをもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024 年 1 月 31 日～2025 年 1 月 30 日)

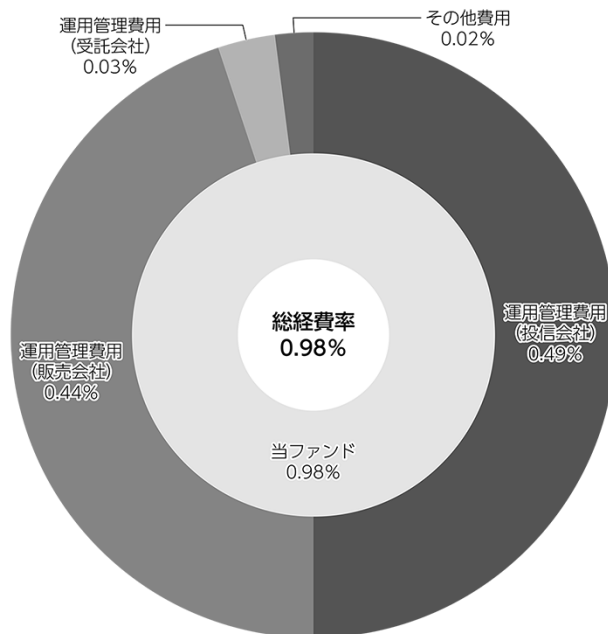
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 97	% 0.968	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(49)	(0.495)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(44)	(0.440)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.019	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出にかかる費用等
合 計	99	0.987	
期中の平均基準価額は、9,987円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年 1 月31日～2025年 1 月30日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	米国	国債証券	千米ドル 564, 609	千米ドル 462, 043 (112, 000)
		特殊債券	—	— (8, 250)
		社債券 (投資法人債券を含む)	279, 468	7, 516 (1, 052, 305)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
(注) 単位未満は切捨て。
(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注) 社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年 1 月31日～2025年 1 月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年 1 月30日現在)

2025年 1 月30日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2025年 1 月30日現在)

項 目	債 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円	%
	61, 882, 009	100. 0
投資信託財産総額	61, 882, 009	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2025年1月30日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	61,882,009,584
コール・ローン等	61,881,416,201
未収利息	593,383
(B) 負債	326,387,674
未払解約金	5,934,362
未払信託報酬	319,035,226
その他未払費用	1,418,086
(C) 純資産総額(A－B)	61,555,621,910
元本	61,714,977,499
償還差損金	△ 159,355,589
(D) 受益権総口数	61,714,977,499口
1万口当たり償還価額(C／D)	9,974円18銭

(注) 当ファンドの期首元本額は84,013,190,103円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は22,298,212,604円です。
(注) また、1口当たり純資産額は0.997418円です。

○損益の状況 (2024年1月31日～2025年1月30日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,323,713,340
受取利息	2,321,749,915
その他収益金	1,963,582
支払利息	△ 157
(B) 有価証券売買損益	△ 1,712,301,495
売買益	36,329,077,130
売買損	△38,041,378,625
(C) 信託報酬等	△ 709,831,803
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 98,419,958
(E) 前期繰越損益金	△ 60,337,405
(F) 追加信託差損益金	△ 598,226
(配当等相当額)	(△ 33,043)
(売買損益相当額)	(△ 565,183)
償還差損金(D＋E＋F)	△ 159,355,589

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、161,769,995円です。

○投資信託財産運用総括表

信 託 期 間	投資信託契約締結日	2020年12月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年1月30日		資 産 総 額	61,882,009,584円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	326,387,674円
受益権口数	94,971,190,406口	61,714,977,499口	△33,256,212,907口	純 資 産 総 額	61,555,621,910円
元 本 額	94,971,190,406円	61,714,977,499円	△33,256,212,907円	受 益 権 口 数	61,714,977,499口
毎計算期末の状況				1万口当たり償還金	9,974円18銭
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第1期	94,575,589,229円	93,721,720,250円	9,910円	0円	0%
第2期	90,830,191,393	91,385,664,890	10,061	0	0
第3期	84,013,190,103	83,867,936,099	9,983	0	0

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	9,974円18銭
-----------------	-----------

（個人の受益者に対する課税）

※償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分に20.315%（所得税15.315%、地方税5%）の源泉分離課税がかかります。

税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

税金の取扱いの詳細等については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

○お知らせ

当ファンドは、2025年1月30日をもちまして信託期間を終了し、満期償還いたしました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。